

第2回 江南区教育ミーティング概要

開催日時	平成30年1月25日(木) 午後1時30分から午後2時50分まで
会場	江南区役所3階 302会議室
出席者	江南区自治協議会委員 出席15名 教育委員: 沢野教育委員、上田教育委員 事務局: 教育総務課長、地域教育推進課長、学校支援課課長補佐、亀田地区公民館長、亀田図書館長、江南区教育支援センター所長、教育総務課主査 傍聴: なし
議事	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員挨拶</p> <p>3 「平成29年度全国学力・学習状況調査新潟市の結果について」(学校支援課説明)</p> <p>4 意見交換 「江南区の地域と学校の連携のさらなる推進について」</p> <p>地域連携関係の事業の内容の再確認、区内での状況・課題の説明、丸山小のウェルカム参観日の取組紹介の後、意見交換</p> <p style="padding-left: 2em;">課題: 地域と学校パートナーシップ事業の周知について(PTA組織を通じた保護者への周知)</p> <p>司会</p> <p>丸山小ウェルカム参観日にかかわったCOとPTA会長が委員の中にいらっしゃるの で、工夫した点や感想などをお聞きしたい。</p> <p>副部長(丸山小のCO)</p> <p>例年の日曜参観後の各学年 PTA 事業を、今年は文化祭と合わせウェルカム参観 日として地域とつながる意味合いを持った活動として早目に PTA に提案し、採用 してくれた学年と協働で活動した。一番地域とつながったのが、2年生のミニフ ラワーアレンジメントで、この地域には花農家がたくさんあり、お声掛けしてた くさん花の寄付をいただき、中央卸売市場の業者から講師の協力をもって86名 もの参加があり大好評だった。「バルーンアート」や「ペットボトルでヨーヨーづ くり」は例年作るだけだったが、地域貢献として、保育園の子どもたちから小学 校を身近に感じてもらえればと思い、保育園にプレゼントした。「直り山いざや神 楽」については、学年委員長の旦那さんが神楽の会に所属しておられ、身内から 頼まれるより学校やCOさんから頼まれるのならとおっしゃっていたそうで、COも 結構浸透してきたのかなと思う。</p> <p>自治協委員(丸山小PTA副会長)</p> <p>神楽は途絶えていたものが復活して、一昨年学校で舞をしていただいたが、子 どもたちはその時見ていただけのものに触れることができ喜んでた。それぞ れの学年で予想以上のものができ大好評だった。</p> <p>教育委員</p> <p>全学年を見せてもらい、子どもたちが輝いていた。「ペットボトルでヨーヨーづ くり」は制作の流れがよくできており、PTAの方々が打ち合わせをずいぶんされたと聞いた。</p>

自治協委員

PTA の学年委員や役員が蓋に穴をあける作業や、子どもたちに分かりやすい工夫をするため、夜間に何回も集まって準備していた。

司会

他に PTA にかかわってくださっている委員はいらっしゃいますか。

自治協委員

亀田東小でもコミ協の依頼で PTA 主催の家庭教育学級をやっている。亀田まつりの亀田甚句流しについても、コミ協が主催の形で学校から家庭へ案内するなど、PTA と地域はよくつながっている。

自治協委員

亀西小コミ協であるが、PTA の主催やコミ協の共催など流れはいろいろあるが、PTA の熱意があまり感じられなかった。丸山小のかかわりの中でどのようにして周知し円滑にやっているのか。

自治協委員

内容は毎年違うが、日曜参観にイベントをやるということが定着しており、伝統が積み重なって引き継ぎもしっかりされている。主催者側として企画の早い段階からかかると自分たちがやっていく意識になって頑張れると思う。

司会

PTA 全体として取り組むことで保護者にも事業の内容や地域連携の進んでいる状況が伝わるかと思うが、保護者側の感想などはどうか。

自治協委員

地域に花農家がこんなにあったと気が付いた先生や保護者の方が大勢いらっしゃった。

司会

PTA と地域と学校パートナーシップ事業のつながりについていかがか。

教育委員会事務局

地域と学校の連携協働を訴えかけて 10 年になるが、ボランティアや地域の方からは PTA や保護者のかかわりがなかなかねと言う声を聞く学校もある。丸山小は素晴らしい取り組みで、PTA の活動だが地域に協力してもらおうというスタンスで地域とかかわるチャンスができたことが大きい。その中でアイデアが生まれたり、地域代表とのかかわりが増えていけば自分ごととして保護者がかかわってくれるようになると思う。

自治協委員

(パートナーシップ事業ではないが) 東曾野木小ではふれあいスクールが始まって 15 年になるが、スタッフとしては保護者はほとんど昼間の参加は無理で地域のボランティアが主体。とはいえ教育委員会と PTA の共催事業であり、PTA のかかわりはとても大事なので、イベントなどでゲームの担当や豚汁作りの手伝いなど教養部中心で関わってもらっている。参加すると楽しいということをだんだん分かってきてもらえたようで、周年祭に下のお子さんも連れてきて家族で参加したり、かなり大人の参加者が増えてうれしく感じた。

部会長

ウェルカム参観日には参加したことがないが次回から参加したい。早小コミ協

では、学校を通じて保護者へ案内を出し、PTA と一緒に賽の神のイベントを行い大勢の参加があった。

教育委員

以前中学校でPTA 会長を務めた時はCO がまだ配置されていない時代で、全部PTA で行事をやった。CO が配置されたあとの展開をOB としては関心を持って見ていた。CO がPTA とうまく関わるところもあれば、CO がいるので安心してすぎているPTA もある。そういった人々をどうやって行事に参加してもらおうか工夫することは大切なことだと思う。

司会

保護者にかかわらず、コミ協など皆様方の選出母体の団体が学校との連携をさらに進めていくためのご意見をお願いしたい。

部会長

早小コミ協では、隔月の役員会議に学校の管理職とCO から必ず参加してもらっている。

自治協委員

曾野木コミ協では学校との連携としてフロアカーリングを行っているが、順番に小中学校の体育館を借りることにしており、イベントを通じてPTA も地域とのつながりを持っていけるし、区役所が特に推している事業でもあり、亀田総合体育館という「社」の部分ともつながっているものになっている。

自治協委員

亀東小コミ協のメンバーは年齢層が高かったが、PTA の若い人たちから役員に入ってもらった。学校の話題も知ることができるし、学校に行事のポスター掲示の依頼をしたりしている。これからの展開が楽しみである。

自治協委員

亀小コミ協は合同防災訓練、亀田甚句まつり、コミ協主催の盆踊り大会等で小学校とは常に連携している。昨年、昼間時間の取れる自営業の現役PTA の方から3名コミ協に入ってもらった。PTA との連携についてはコミ協の活性化にもつながるので今後も勉強していきたい。

副部会長

大江山中校区で世代間交流座談会（コミ協主催）があり、地域の施設の方や学校PTA、福祉関係など様々な方が集い、困りごとやつながりについて話し合った。その中で、丸山小の1年生がこれまでやっていた地域の方と昔遊びを楽しむという活動を、地域の高齢者施設内にできた地域の茶の間を訪問しお年寄りと遊んでくる事業に発展させることができたのでよかったと思う。ドリームプロジェクト支援事業の予算でバスにも乗ることができたので助かった。3月にまた3年生がお邪魔することになっている。

司会

今のお話のあった世代間交流の取り組みについては2月4日号の区役所だよりの「地域と学校パートナーシップ事業」の特集記事の中で掲載させていただいた。双方向のやり取りということで、事業が進化している形だと受け止めている。

教育委員

行事をやる中でなかなか参加者が集まりにくい、本当に楽しかったとか、参加できてよかったと思えるものを作って、来年は私もやりたいという意識になってもらい今後一緒にやってもらおうことになると思う。

自治協委員

大江山地区ではCOとPTAが上手にやり取りしており、自治連や育成協もCOがうまく声をかけてくると応じたい心理になるので、関係者を上手に取り込むのが肝要だと思う。子どもを通じて保護者を学校に誘導するのも大事。保護者も学校の様子をこまめに子どもから聞くことで、内容を認識でき、非行防止にもつながるのではないかな。日頃からPTA、COを中心に地域に顔をつないでいくことが様々な依頼を受け入れてくれることにつながる。また、大江山地域全体のあいさつ運動が広がって、子どもたちのあいさつが良くなってこちらが子どもたちから背中を叩かれるまでになっており、続けていくことで地域の輪が生まれていくと思う。

自治協委員

子どもたちのために頑張っている地域の方とCOの熱い思いを、一番核になっている学校に伝えていただき、教職員が地域の皆さんと同じような気持ちでかかわっていただきたい。

5 環境・教育部会長挨拶

今後も、学・社・民による教育の実践のために、各学校のパートナーシップ事業に協力し子どもたちが立派に育つお手伝いをしたいと思う。

6 閉会